ICT活用教育

中学校 全校 総合的な学習の時間

私たちでつくる学校給食 ー長谷中 シン・畑活動ー

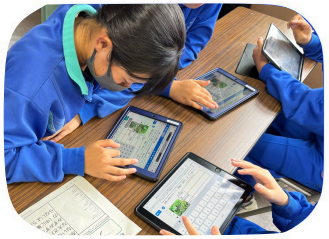
実践事例　NO.98
発行：伊那市教育委員会学校教育課
編集：ICT活用教育推進センター

野菜の収穫に向けて探究的に取り組もう

長谷中学校の子どもたちは、給食調理員さんの想いを大切にしながら自分たちの目標を決めて、担当する野菜の栽培を行なってきました。この授業では畑で担当する野菜を観察し生育状況について見返しを行います。観察の結果から担当する野菜の生育状況について気づいた課題を整理・分析し課題を克服するために仮説を立てたり、仲間との意見交流を行ったりします。課題の傾向をつかみ野菜の収穫に向けてさらに探究活動に取り組もうとする意欲を持ちました。

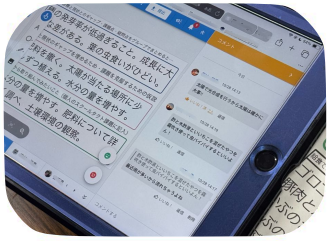
①畑で担当の野菜を観察します。生育の様子を観察して、目標としている野菜の姿とのギャップについて疑問点や課題をタブレットにメモをしています。

②担当の野菜グループごとに課題を共有します。カメラやメモで記録してきた課題をスクールタクトの1枚のワークシートに貼り付けていきました。

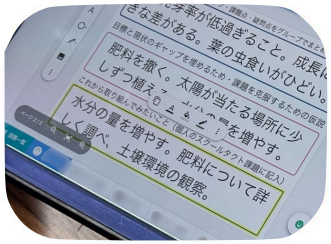


③スクールタクトを「共同編集モード」に切り替えてグループ一人ひとりが出し合った課題をグループ全員で整理・分類しています。

④課題の整理・分析を行なったところで、担当している野菜のグループ毎に課題解決に向けた仮説を立てます。



⑤他の担当野菜グループが整理・分析した課題や立てた仮説に対して「いいね」を送ったり、コメントをして評価し合っていきます。



⑥今日の活動を振り返って、一人ひとりがこれから取り組んでみたいことを記入しています。野菜の収穫に向けて探究的に取り組もうとする意欲が高まりました。

長谷中学校　全校で取り組んでいる学習の様子を舘林洸一 先生の実践をもとに、推進センターで編集しました。

学年の縦割り班で発揮される共同編集の利点

参観された学力向上検討委員の先生方のご意見

- ICTを活用することで、「対話的で深い学び」を実現していることを強く感じました。Rさんは、教室で、おそらく一言も言葉を発していなかったと思います。しかしながら、グループ内で、また他の野菜グループ全員と深く対話していました。Rさんの対話の機会をICT（スクールタクト編集モード）が作りだしていたと思います。素晴らしかったです。
- グループごとに課題をまとめる・整理する場面で、グループのシートを共同編集した点は、有効であったと感じます。学年の縦割り班で上級生だけが編集を行うと、下級生の意見や考えが埋もれがちです。しかし、共同編集により全員が入力してシートを作成することができていました。各グループのシートを共有したことも、互いの情報を知るという点で有効であったと感じました。
- 野菜の成長について課題となった様子を、タブレットで写真を撮って、家で見てもらいながら知恵や対策を教えていただくことも大事な活用だと思います。授業中にどう使うかがメインになってきていますが、今まで経験してきた基本的な使い方も面白いです。ネットで検索ももっと自由におこなって良いと思います。見つけてきた内容の取捨選択・吟味も協働的な学びの醍醐味になると感じました。
- ICTは様々な場面で活用できる可能性を感じます。1年間の活動の過程を丁寧にまとめることも大事だと感じました。そんな記録が積み重なると地域や学校における素晴らしい財産になります。

様々な取り組みをデジタルブックで伝えよう

総合的な学習の時間では、地域の特色を活かし地域とともに取り組む実践がたくさん行われています。このような取り組みは、大変貴重なものです。これから伊那市にやってくる先生方にとっては大きな指針になりますし、地域の人々にとっても地域を知る上での大切な財産となります。

これまで、いくつかの伊那市での実践がデジタルブックの形でブックストアからダウンロードできるようになっています。長谷中学校で取り組まれた野沢菜栽培からおやきづくりまでの実践をまとめた「野沢菜おやき物語」。地域に伝わる「新山郷土の歌」について地域のお年寄りに取材し、「飼うや蚕の二百余戸」の歌詞から「蚕養」をはじめる小学生の取り組みをまとめた「かいこを育てよう」などはぜひ一度ご覧になっていただきたいと思います。

「野沢菜」は信州を代表する漬物です。伊那市でも冬の郷土食として親しまれています。また「おやき」も知名度の高い郷土料理です。これらの郷土料理は美しい空気と水、東西に3000メートル級の山々が立ち並ぶ起伏のとんだ土地、比較的冷涼な気候から生み出されます。
長谷中学校の野沢菜の種まきから収穫、おやきづくりまでのストーリーです。

ここに登場する子どもたちはかいこを飼うことを通して大きく成長しました。私は成長する子どもたちの姿を見ながら、このことを多くのみなさんにぜひ伝えたいと思いました。この物語のきっかけは長野県の歌と地域に伝わる歌の共通点に気づいたことです。このことから子どもたちは考え、地域のおじいさんおばあさんたちから多くのことを教えてもらいます。そしてかけがえのない故郷の歴史を学び、そこに生きた人々の素晴らしさに気づきます。

探究的な学び　**先進的な学び**　個別最適な学び　協働的な学び　自立的な学び　子どもと共に　未来を創る教員

伊那市では「学校教育情報化ビジョン２０２４」をもとに、iPadを導入して「ICT活用教育」を推進しています。